



2025年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月14日

上場会社名 BRUNO株式会社

上場取引所 東

コード番号 3140 URL <https://bruno-inc.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 正人

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営情報統括部長 (氏名) 松原 元成 TEL 03-6631-0000

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年7月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年6月期第1四半期 | 3,353 | 28.3 | 37 | | 19 | | 37 | |
| 2024年6月期第1四半期 | 2,613 | 32.0 | 182 | | 194 | | 162 | |

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 48百万円 (%) 2024年6月期第1四半期 162百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年6月期第1四半期 | 2.58 | |
| 2024年6月期第1四半期 | 11.33 | |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|---------------|--------|---|-------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | % |
| 2025年6月期第1四半期 | 10,409 | | 4,981 | | 47.9 | |
| 2024年6月期 | 10,336 | | 5,088 | | 49.2 | |

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 4,981百万円 2024年6月期 5,088百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2024年6月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年6月期 | | 0.00 | | 4.00 | 4.00 |
| 2025年6月期(予想) | | 0.00 | | 4.00 | 4.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,194 | 48.3 | 1,295 | 782.1 | 1,125 | | 362 | | 25.31 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|--------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2025年6月期1Q | 14,717,350 株 | 2024年6月期 | 14,717,350 株 |
| 期末自己株式数 | 2025年6月期1Q | 374,735 株 | 2024年6月期 | 374,735 株 |
| 期中平均株式数 (四半期累計) | 2025年6月期1Q | 14,342,615 株 | 2024年6月期1Q | 14,342,635 株 |

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2024年11月14日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年7月1日～2024年9月30日)におけるわが国経済は、経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善が進み、また旺盛なインバウンド需要の増加などにより、景気は緩やかに持ち直している一方、相次ぐ自然災害、資源価格の高騰による継続的な物価上昇や急激な為替相場の変動などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高につきましては、BRUNOカタログギフトをギフト需要にマッチした4つの価格帯コースで展開することによりギフト需要を取込み、本年7月のBRUNOカタログギフトの販売額は過去最高となりました。ライフスタイル商品ブランド『BRUNO』は、ホットサンドメーカー、コンパクトホットプレート等キッチン家電の売上が好調に推移、BRUNOブランドの売上高は前年同期比112%と伸ばし、コロナ需要の反動からようやく回復傾向を見せております。

トラベル商品ブランド『MILESTO』は、インバウンド需要、旅行需要を取込み、ショルダーバッグやキャリー等の売上が好調に推移、『MILESTO』の売上高は前年同期比125%と伸びました。

これらの結果として、当社グループの売上高は3,353百万円(前年同期は2,613百万円)となりました。

営業利益につきましては、営業損失37百万円(前年同期は182百万円の損失)、経常損失19百万円(前年同期は194百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失37百万円(前年同期は162百万円の損失)となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、海外卸販売は中国向け商品を開発販売する等の施策により前年同期を大きく上回りました。また当社国内卸販売は家電量販店やセールスプロモーション販売の売上高を伸ばしたものの、専門店等への売上が前年同期を下回ったことから、国内卸販売の売上高は前年同期を下回りました。しかしながら子会社ジャパングヤルズの卸売上も貢献したことから、結果として住関連ライフスタイル商品製造卸売事業の売上高は1,695百万円(前年同期は1,412百万円)、営業利益は29百万円(前年同期は28百万円)となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業においては、当社国内Eコマース販売は、引き続き好調なカタログギフト販売が牽引し、前年同期比160%と大幅に売上を拡大いたしました。直営店販売は、インバウンド需要や旅行需要を取込むことで、「キャリー」や「トラベルバッグ」等トラベル関連商品の売上が好調に推移しました。子会社ジャパングヤルズのEC販売および海外子会社のEC販売も売上を伸ばしたことから、結果として住関連ライフスタイル商品小売事業の売上高は1,649百万円(前年同期は1,196百万円)、営業利益は263百万円(前年同期は118百万円)となりました。

デザイン事業においては、売上高は9百万円(前年同期は3百万円)、営業利益は9百万円(前年同期は3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、10,409百万円（前連結会計年度末は10,336百万円）となり、72百万円増加しました。

流動資産は、8,409百万円（前連結会計年度末は8,311百万円）となり、98百万円増加しました。これは現金及び預金の減少（340百万円）及び短期貸付金の減少（200百万円）があったものの、受取手形及び売掛金の増加（171百万円）、商品及び製品の増加（271百万円）及びその他の流動資産の増加（197百万円）等があったことによるものであります。

固定資産は、1,999百万円（前連結会計年度末は2,025百万円）となり、25百万円減少しました。これは有形固定資産の増加（11百万円）があったものの、無形固定資産の減少（36百万円）等があったことによるものであります。

流動負債は、2,821百万円（前連結会計年度末は2,589百万円）となり、231百万円増加しました。これは1年以内返済予定の長期借入金の減少（49百万円）及び未払法人税等の減少（28百万円）があったものの、支払手形及び買掛金の増加（192百万円）、短期借入金の増加（87百万円）及び契約負債の増加（25百万円）等があったことによるものであります。

固定負債は、2,606百万円（前連結会計年度末は2,659百万円）となり、52百万円減少しました。これは長期借入金の減少（52百万円）等によるものであります。

純資産は、4,981百万円（前連結会計年度末5,088百万円）となり、106百万円減少しました。これは主に利益剰余金の減少（94百万円）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年8月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,690 | 2,350 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,499 | 1,671 |
| 商品及び製品 | 2,756 | 3,027 |
| 原材料及び貯蔵品 | 261 | 260 |
| 短期貸付金 | 770 | 570 |
| その他 | 355 | 552 |
| 貸倒引当金 | △21 | △21 |
| 流動資産合計 | 8,311 | 8,409 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| その他(純額) | 202 | 213 |
| 有形固定資産合計 | 202 | 213 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,432 | 1,394 |
| その他 | 55 | 56 |
| 無形固定資産合計 | 1,488 | 1,451 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 196 | 205 |
| その他 | 155 | 146 |
| 貸倒引当金 | △17 | △17 |
| 投資その他の資産合計 | 334 | 334 |
| 固定資産合計 | 2,025 | 1,999 |
| 資産合計 | 10,336 | 10,409 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 649 | 842 |
| 短期借入金 | 826 | 913 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 308 | 259 |
| 未払法人税等 | 63 | 34 |
| 引当金 | 49 | 54 |
| 契約負債 | 175 | 200 |
| その他 | 516 | 515 |
| 流動負債合計 | 2,589 | 2,821 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 634 | 581 |
| 長期未払金 | 2,000 | 2,000 |
| その他 | 25 | 25 |
| 固定負債合計 | 2,659 | 2,606 |
| 負債合計 | 5,248 | 5,427 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,509 | 1,509 |
| 資本剰余金 | 1,818 | 1,818 |
| 利益剰余金 | 1,838 | 1,744 |
| 自己株式 | △82 | △82 |
| 株主資本合計 | 5,084 | 4,990 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 0 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | 3 | △8 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3 | △8 |
| 純資産合計 | 5,088 | 4,981 |
| 負債純資産合計 | 10,336 | 10,409 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 2,613 | 3,353 |
| 売上原価 | 1,502 | 1,973 |
| 売上総利益 | 1,110 | 1,379 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,292 | 1,417 |
| 営業損失(△) | △182 | △37 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 10 | 5 |
| 為替差益 | — | 22 |
| その他 | 5 | 0 |
| 営業外収益合計 | 16 | 29 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6 | 5 |
| 支払手数料 | 11 | 2 |
| 売上割引 | 3 | 2 |
| 為替差損 | 5 | — |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 28 | 11 |
| 経常損失(△) | △194 | △19 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1 | 0 |
| 特別損失合計 | 1 | 0 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △195 | △19 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 28 | 26 |
| 法人税等調整額 | △60 | △8 |
| 法人税等合計 | △32 | 17 |
| 四半期純損失(△) | △162 | △37 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △162 | △37 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △162 | △37 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | — | △11 |
| 其他有価証券評価差額金 | 0 | △0 |
| その他の包括利益合計 | 0 | △11 |
| 四半期包括利益 | △162 | △48 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △162 | △48 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|----------------------------|--------------------------|--------|-------|--------------|--------------------------------|
| | 住関連ライフ スタイル商品 製造卸売事業 | 住関連ライフ スタイル商品 小売事業 | デザイン事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 国内卸売 | 1,338 | — | — | 1,338 | — | 1,338 |
| 海外卸売 | 73 | — | — | 73 | — | 73 |
| 店舗 | — | 549 | — | 549 | — | 549 |
| E C・通販 | — | 646 | — | 646 | — | 646 |
| その他 | — | — | 3 | 3 | — | 3 |
| 顧客との契約から生じる 収益 | 1,412 | 1,196 | 3 | 2,613 | — | 2,613 |
| 外部顧客への売上高 | 1,412 | 1,196 | 3 | 2,613 | — | 2,613 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,412 | 1,196 | 3 | 2,613 | — | 2,613 |
| セグメント利益 | 28 | 118 | 3 | 150 | △332 | △182 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△332百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関する重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「住関連ライフスタイル商品製造卸売事業」セグメントにおいて、株式会社ジャパングヤルズの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、当第1四半期連結会計期間において、のれんが1,510百万円発生しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|----------------------------|--------------------------|--------|-------|--------------|--------------------------------|
| | 住関連ライフ スタイル商品 製造卸売事業 | 住関連ライフ スタイル商品 小売事業 | デザイン事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 国内卸売 | 1,362 | — | — | 1,362 | — | 1,362 |
| 海外卸売 | 333 | — | — | 333 | — | 333 |
| 店舗 | — | 575 | — | 575 | — | 575 |
| E C・通販 | — | 1,073 | — | 1,073 | — | 1,073 |
| その他 | — | — | 9 | 9 | — | 9 |
| 顧客との契約から生じる 収益 | 1,695 | 1,649 | 9 | 3,353 | — | 3,353 |
| 外部顧客への売上高 | 1,695 | 1,649 | 9 | 3,353 | — | 3,353 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,695 | 1,649 | 9 | 3,353 | — | 3,353 |
| セグメント利益 | 29 | 263 | 9 | 302 | △340 | △37 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△340百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関する重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 16百万円 | 25百万円 |
| のれんの償却額 | 20百万円 | 29百万円 |